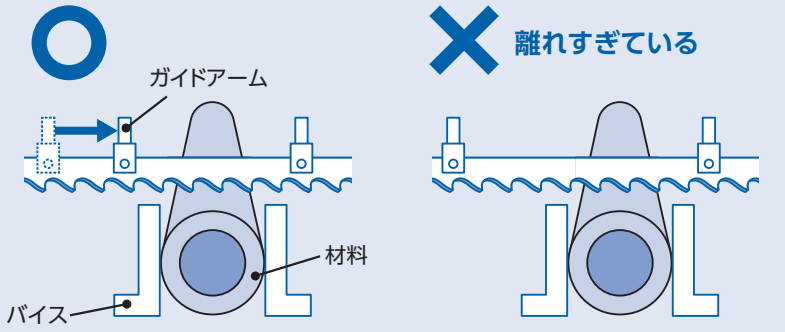
ブレードトラブルとチェック箇所

切断前の事前調整について

■切れ曲がりを防ぐ為に

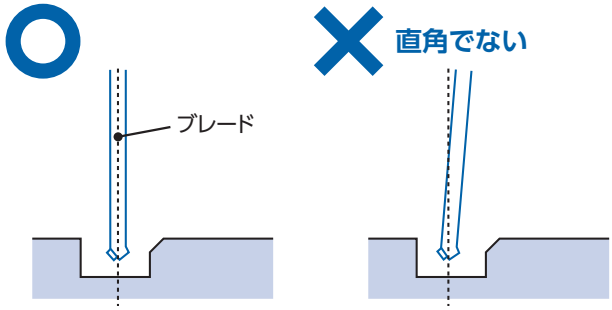
ガイドアームを材料幅に合わせることで
切れ曲がりが起こりにくくなります。



切れ曲がり

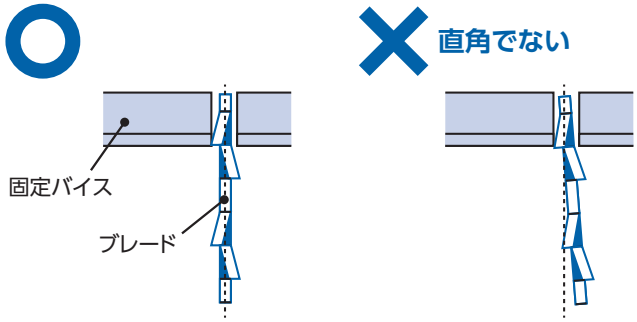
■ワークテーブルとブレードの直角度

ブレードがワークテーブルに対し**直角**になっていることを確認して下さい。



■固定バイスとブレードの直角度

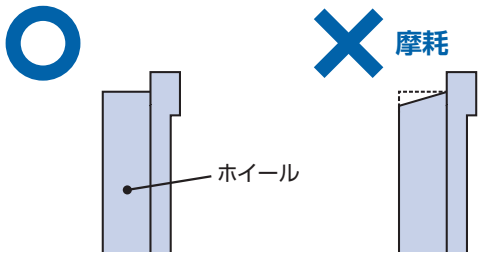
ブレードが固定バイスに対し**直角**になっていることを確認して下さい。



ブレードの破断

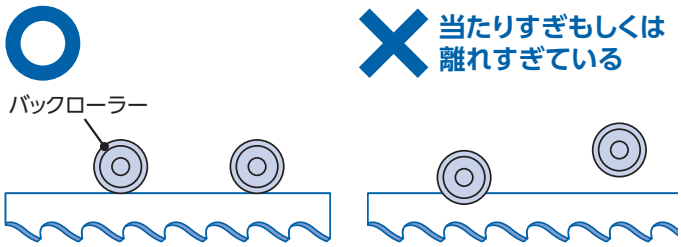
■ホイール面の摩耗

特に、駆動ホイールの摩耗状態をチェックして下さい。
ホイール面が摩耗するとブレードのずれ落ち現象が現れます。



■バックローラー(バックチップ)の当たり不良(摩耗)

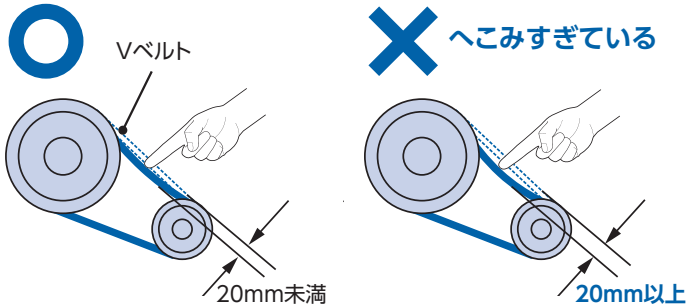
バックローラーの位置を正しく調整して下さい。



歯こぼれ

■Vベルトの劣化

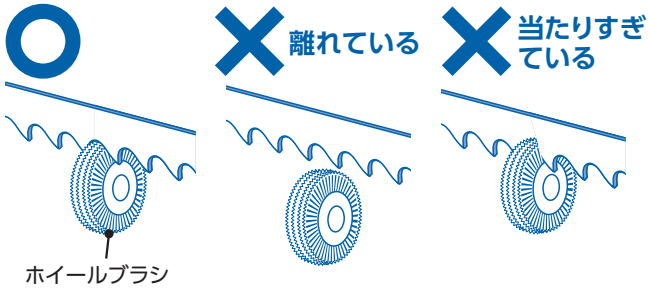
指でVベルトを押して、20~30mmへこむときはVベルトを交換して下さい。



切断面不良

■ホイールブラシの当たり不良

ブラシの先端が刃底に当たるように調整して下さい。



青山製作所

〒441-1202 愛知県豊川市上長山町手取8-24
☎(0533)92-1500 FAX(0533)92-1503
https://www.aoyamass.co.jp/

2019.10